



2025 年 10 月 28 日

「TOHOネクストステージファンド」によるリスク計測テクノロジーズ株式会社への
投資実行について～当ファンド第2号案件～

東邦銀行（頭取 佐藤 稔）は、東邦リース株式会社（代表取締役社長 青木 智）およびスパークル株式会社（代表取締役 福留 秀基）を共同運営会社としてお客さまの更なる企業成長に寄与することを目的として組成した「TOHOネクストステージファンド」を通じ、田村市に開発拠点を設け、地域活性化を目的に覚書を締結し、リスク管理に関するコンサルティングやデータ分析を行うリスク計測テクノロジーズ株式会社（代表取締役 岡崎 貫治、本社：神奈川県横浜市）様へ投資しましたのでお知らせいたします。

当行では、引き続き本ファンドの活用を通じて、福島の将来を担うスタートアップ企業のチャレンジを後押しし、地域経済の活性化・地方創生に貢献してまいります。

記

1. 投資先概要

社名	リスク計測テクノロジーズ株式会社		
代表者	岡崎 貫治		
本社所在地	神奈川県横浜市	研究所所在地	福島県田村市
資本金	5 百万円		
設立	2019 年 10 月 1 日		
URL	https://rimtech.co.jp		
事業概要	・ リスク管理に関するシステム開発（データ分析・音声解析・AI） ・ リスク管理に関する助言業務		

【代表者からのコメント】

この度、TOHOネクストステージファンドより資金供給を賜り、福島県浜通り地域において共に取り組まさせていただけることを大変光栄に存じます。また、これまで継続的にご支援を賜っている皆様に、改めて心より御礼申し上げます。

当社は、「音声でリスク事象が見える化する」をテーマに、福島県田村市を拠点として音声解析技術の研究開発を進めています。私たちは、音声を新たなバイオマーカーとして活用し、心理的ストレスや眠気、未病兆候などの早期発見・予防を実現することで、人々の健康維持と安全を支える技術の社会実装を目指しています。これを契機に、確かな研究成果に基づく浜通り地域発の革新的技術として、社会実装をさらに加速させるとともに、ヘルスケア・医療・福祉・モビリティなど多様な分野で企業や自治体との共創を推進してまいります。

福島の復興と未来産業創出に貢献し、福島発・日本発・世界初の「声によるウェルビーイングテクノロジー」を実現することで、誰もが安心して働き、生きることができる社会の実現を目指します。

以 上

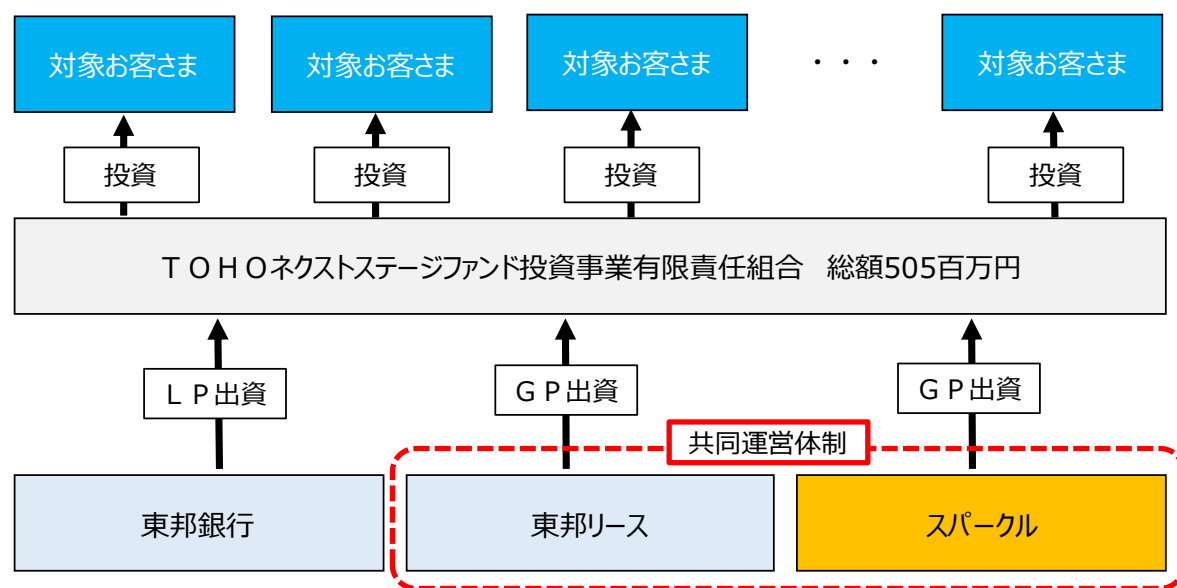
東邦銀行

<参考>

1. ファンドの概要

名称	TOHOネクストステージファンド (TOHOネクストステージファンド投資事業有限責任組合)	
目的	「創業の地 ふくしま」の確立に向け、地域のスタートアップ企業に長期安定的な資本性資金の供給を行う	
設立日	2024年11月21日	
出資総額	505百万円	
有限責任組合員	株式会社東邦銀行	(出資約束額 500百万円)
無限責任組合員	東邦リース株式会社	(出資約束額 2.5百万円)
	スパークル株式会社	(出資約束額 2.5百万円)
投資手法	社債、優先株式等	
運営期間	10年	

2. ファンドのスキーム図



東邦銀行グループでは、『サステナビリティ宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。